

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000466	中央公民館運営事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会					
基本理念	73	生涯学習の推進			担当課	中央公民館				
基本方針	01	生涯学習を充実する			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	社会教育法									
構成予算事業			会計	款	項	目				
630101	中央公民館一般管理事業		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02	公民館費
630201	中央公民館事業		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02	公民館費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法			直接実施							
実施方法			業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
実施方法			補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		効率的な公民館の事務業務の推進に努め、市民のニーズに既した講座の開設及び運営を行い、市民の生涯学習を支援する。 公民館利用者の利便性を確保する。								
対象 (誰・何を対象に)		施設利用者								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		中央公民館講座(料理教室、書道教室、絵画教室など) 公民館の施設管理(臨時職員の起用、複写機の設置など)								
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	賃金	千円	2,650	2,306	1,495	0
		報償費	千円	607	743	629	0
		需用費	千円	587	645	616	575
		役務費	千円	200	246	55	44
		使用料及び賃借料	千円	291	165	293	0
		負担金補助及び交付金	千円	27	27	27	27
		委託料	千円	10	22	11	37
		報酬	千円	0	0	0	428
		給料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	3	0	0	1,948
	小計	千円	4,375	4,154	3,126	3,059	
	B	人件費	千円	580	580	580	580
	総事業費(A+B)	千円	4,955	4,734	3,706	3,639	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	2,576	3,023	2,444	1,078	
	一般財源	千円	2,379	1,711	1,262	2,561	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000466	中央公民館運営事業				
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	一般講座及び親子体験教室の回数	目標	回	118	118	49	47
		実績			104	86	50
		単位コスト			39.942	36.349	61.180
	中央公民館開館日数	目標	日	359	359	359	359
		実績			360	359	359
		単位コスト			11.539	8.708	8.521
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
中央公民館一般講座参加延べ人数	目標	人	1,785	1,785	760	740	
	実績			1,522	1,173	617	
中央公民館利用人数	目標	人	40,000	40,000	37,000	36,000	
	実績			43,691	41,819	29,867	
	目標						
	実績						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		基本的には市が実施する事業であるが、今後は指定管理も含めた民間による実施主体を視野に入れていく。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		講座によっては参加枠を超える希望者があるなど市民が生涯学習を実践する場をして有効に機能していると同時に、コミュニティづくりにも寄与している。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		事業費は最低限のものであり、講座についても地域コミュニティを推進していくとの観点から実費のみ参加者負担で参加費は徴収しない。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性		生涯学習の趣旨を踏まえると単純に参加者の少ない講座をなくすことはできないので、予算配分の関係もあり回数を考慮するなど再編していく。 価値観の多様化や市民のニーズなど社会情勢の変化に順応したものとしていく必要がある。			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000467	川口地域公民館運営事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会				
基本理念	73	生涯学習の推進			担当課	中央公民館			
基本方針	01	生涯学習を充実する			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	社会教育法								
構成予算事業			会計	款	項	目			
630102	川口地域公民館一般管理事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02	公民館費
630202	川口地域公民館事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02	公民館費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		市民のニーズに即した講座の開設及び運営を実施すると同時に、市民の生涯学習の推進と地域コミュニティの拡充を支援する。 各用品等の整備など公民館の維持管理を行い、施設利用者の利便性を確保していく。							
対象 (誰・何を対象に)		公民館利用者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		公民館活動(市民対象の講座の企画・開設、コミセン祭りの開催など) 施設等管理(光熱水費の支出、臨時職員の配置など)							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	需用費	千円	2,050	2,262	2,561	2,029
		賃金	千円	1,072	1,030	1,023	0
		委託料	千円	684	666	517	586
		報償費	千円	190	178	160	0
		使用料及び賃借料	千円	130	129	129	0
		役務費	千円	83	94	147	89
		備品購入費	千円	0	25	28	0
		報酬	千円	0	0	0	154
		給料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	1,172
	小計	千円	4,209	4,384	4,565	4,030	
	B	人件費	千円	4,805	4,805	4,805	4,805
		総事業費(A+B)	千円	9,014	9,189	9,370	8,835
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	67	77	67	63	
		地方債・その他特財 コメント					
		一般財源	千円	8,947	9,112	9,303	8,772

計画事業評価表

計画事業		000467 川口地域公民館運営事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	一般講座の回数	目標	回	36	36	32	32
		実績			34	33	33
		単位コスト			128.941	138.333	122.121
	開館日数	目標	日	293	298	293	293
		実績			294	293	293
		単位コスト			14.912	15.580	13.754
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
講座参加延べ人数	目標	人	460	460	460	440	
	実績			422	346	320	
公民館利用人数	目標	人	6,200	6,200	6,200	6,100	
	実績			3,702	5,703	6,099	
	目標						
	実績						

事項		担当課評価																																		
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		基本的には市が実施する事業であるが、今後は指定管理も含めた民間による実施主体を視野に入れていく。																																		
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		講座によっては参加枠を超える希望者があるなど市民が生涯学習を実践する場として有効に機能していると同時に、コミュニティづくりにも寄与している。																																		
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		事業費は最低限のものであり、講座についても地域コミュニティを推進していくとの観点から実費のみ参加者負担で参加料は徴収しない。																																		
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																		
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 生涯学習の趣旨を踏まえると単純に参加者の少ない講座をなくすことはできないので、予算配分の関係もあり回数を考慮するなど再編していく。 価値観の多様化や市民のニーズなど社会情勢の変化に順応したものとしていく必要がある。 施設利用者への安全安心で利便性の高い公共施設としていくために、施設設備や備品等の各種修繕にも計画的に取り組んでいかなければならない。	
成果の方向性	拡充		×																																	
	維持		×		○	×																														
	縮小		×		×	×																														
	休廃止		×	×	×																															
		皆減	縮小	維持	拡大																															
コスト投入の方向性																																				

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000468	日新地域公民館運営事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会				
基本理念	73	生涯学習の推進			担当課	中央公民館			
基本方針	01	生涯学習を充実する			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	社会教育法								
構成予算事業			会計	款	項	目			
630103	日新地域公民館一般管理事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02	公民館費
630203	日新地域公民館事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02	公民館費
実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
	直接実施								
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)								
	補助金 (補助先:)								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	市民のニーズに即した講座の開設及び運営を実施すると同時に、市民の生涯学習の推進と地域コミュニティの拡充を支援する。 各用品等の整備など公民館の維持管理を行い、施設利用者の利便性を確保していく。								
対象 (誰・何を対象に)	公民館利用者								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	公民館活動(市民対象の講座の企画・開設、コミセンまつりの開催など) 施設等管理(光熱水費の支出、臨時職員の配置など)								
関連事業 (同一目的事業等)									

コスト	A	需用費	千円	平成28年度	2,673	平成27年度	3,668	平成26年度	4,054	平成25年度	3,440
		賃金	千円	1,072	1,024	1,098	0				
		委託料	千円	808	799	590	699				
		報償費	千円	175	205	202	0				
		役務費	千円	88	193	135	130				
		使用料及び賃借料	千円	150	139	139	0				
		備品購入費	千円	40	32	35	0				
		報酬	千円	0	0	0	202				
		給料	千円	0	0	0	0				
		その他	千円	0	0	0	1,190				
小計	千円	5,006	6,060	6,253	5,661						
B	人件費	千円	4,805	4,805	4,805	4,805					
総事業費(A+B)		千円	9,811	10,865	11,058	10,466					
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0					
	府支出金	千円	0	0	0	0					
	国・府支出金 コメント										
	地方債	千円	0	0	0	0					
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	318	332	317	315					
一般財源	千円	9,493	10,533	10,741	10,151						

計画事業評価表

計画事業		000468 日新地域公民館運営事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	一般講座の回数	目標	回	42	42	32	32
		実績			53	48	46
		単位コスト			114.340	130.271	123.065
	開館日数	目標	日	293	298	293	293
		実績			294	293	293
		単位コスト			20.612	21.341	19.321
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
講座参加延べ人数	目標	人	600	600	600	600	
	実績			730	576	638	
公民館利用人数	目標	人	18,000	18,000	18,000	18,000	
	実績			19,925	20,874	14,323	
	目標						
	実績						

事項		担当課評価	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		基本的には自治体を実施する事業であるが、今後は指定管理も含めた民間による実施主体を視野に入れていく。	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		講座によっては参加枠を超える希望者があるなど市民が生涯学習を実践する場として有効に機能していると同時に、コミュニティづくりにも寄与している。	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		事業費は最低限のものであり、講座についても地域コミュニティを推進していくとの観点から実費のみ参加者負担で参加料は徴収しない。	
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)	
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)	
成果の方向性	拡充 × ○ × ×	生涯学習の趣旨を踏まえると単純に参加者の少ない講座をなくすことはできないので、予算配分のかんげいもあり回数を考慮するなど再編していく。	
	維持 ○ × × ×	価値観の多様化や市民のニーズなど社会情勢の変化に順応したものとしていく必要がある。	
	縮小 × × × ×	施設利用者への安全安心で利便性の高い公共施設としていくために、施設設備や備品等の各種修繕にも計画的に取り組んでいかなければならない。	
	休廃止 × × ×		
皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000469	北陵地域公民館運営事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会					
基本理念	73	生涯学習の推進		担当課	中央公民館					
基本方針	01	生涯学習を充実する		新規継続区分	継続事業					
施策の大綱				実施計画区分	実施計画事業					
施策				自由区分3	棚卸し未実施					
根拠法令	社会教育法									
構成予算事業			会計	款	項	目				
630104	北陵地域公民館一般管理事業		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02	公民館費
630204	北陵地域公民館事業		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02	公民館費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法			直接実施							
実施方法			業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
実施方法			補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			市民のニーズに即した講座の開設及び運営を実施すると同時に、市民の生涯学習の推進と地域コミュニティの拡充を支援する。 各用品等の整備など公民館の維持管理を行い、施設利用者の利便性を確保していく。							
対象 (誰・何を対象に)			公民館利用者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			公民館活動(市民対象の講座の企画・開設、コミセン祭りの開催など) 施設等管理(光熱水費の支出、臨時職員の配置など)							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	需用費	千円	621	526	576	511
		委託料	千円	323	312	289	282
		使用料及び賃借料	千円	115	153	114	0
		報償費	千円	105	73	86	0
		役務費	千円	31	15	15	22
		報酬	千円	0	0	0	83
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	138
	小計	千円	1,195	1,079	1,080	1,036	
	B	人件費	千円	4,805	4,805	4,805	4,805
	総事業費(A+B)	千円	6,000	5,884	5,885	5,841	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	87	93	87	86	
	地方債・その他特財 コメント						
	一般財源	千円	5,913	5,791	5,798	5,755	

計画事業評価表

計画事業		000469 北陵地域公民館運営事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	一般講座の回数	目標	回	21	21	21	21
		実績			11	13	21
		単位コスト			98.091	83.077	49.333
	開館日数	目標	日	293	298	293	293
		実績			294	293	293
		単位コスト			3.670	3.686	3.536
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
講座参加延べ人数	目標	人	280	280	280	280	
	実績			136	235	348	
公民館利用人数	目標	人	8,000	8,000	8,000	8,000	
	実績			6,294	8,243	8,509	
	目標						
	実績						

事項		担当課評価																																		
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		基本的には自治体を実施する事業であるが、今後は指定管理も含めた民間による実施主体を視野に入れていく。																																		
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		講座によっては参加枠を超える希望者があるなど市民が生涯学習を実践する場として有効に機能していると同時に、コミュニティづくりにも寄与している。																																		
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		事業費は最低限のものであり、講座についても地域コミュニティを推進していくとの観点から実費のみ参加者負担で参加料は徴収しない。																																		
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																		
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 生涯学習の趣旨を踏まえると単純に参加者の少ない講座をなくすことはできないので、予算配分の関係もあり回数を考慮するなど再編していく。 価値観の多様化や市民のニーズなど社会情勢の変化に順応したものとしていく必要がある。 施設利用者への安全安心で利便性の高い公共施設としていくために、施設設備や備品等の各種修繕にも計画的に取り組んでいかなければならない。	
成果の方向性	拡充		×																																	
	維持		×		○	×																														
	縮小		×		×	×																														
	休廃止		×	×	×																															
		皆減	縮小	維持	拡大																															
コスト投入の方向性																																				

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業		000470 六人部地域公民館運営事業									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会						
基本理念	73 生涯学習の推進	担当課	中央公民館								
基本方針	01 生涯学習を充実する	新規継続区分	継続事業								
施策の大綱		実施計画区分	実施計画事業								
施策		自由区分3	棚卸し未実施								
根拠法令	社会教育法										
構成予算事業			会計	款	項	目					
630105	六人部地域公民館一般管理事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02	公民館費		
630205	六人部地域公民館事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02	公民館費		
実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業						
	直接実施										
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)										
	補助金 (補助先:)										
事務事業の意図	(どのような状態にしたいか) 市民のニーズに即した講座の開設及び運営を実施すると同時に、市民の生涯学習の推進と地域コミュニティの拡充を支援する。 各用品等の整備など公民館の維持管理を行い、施設利用者の利便性を確保していく。										
対象	(誰・何を対象に) 公民館利用者										
事業内容	(手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください) 公民館活動(市民対象の講座の企画・開設、コミセン祭りの開催など) 施設等管理(光熱水費の支出、臨時職員の配置など)										
関連事業	(同一目的事業等)										
コスト	A	需用費	千円	平成28年度	1,674	平成27年度	1,971	平成26年度	1,971	平成25年度	1,733
		賃金	千円	1,072	1,006	793	0				
		委託料	千円	739	725	569	736				
		備品購入費	千円	58	539	54	0				
		報償費	千円	209	209	204	0				
		使用料及び賃借料	千円	147	142	143	0				
		役務費	千円	99	123	170	126				
		報酬	千円	0	0	0	209				
		給料	千円	0	0	0	0				
		その他	千円	5	0	2	1,185				
	小計	千円	4,003	4,715	3,906	3,989					
	B	人件費	千円	4,805	4,805	4,805	4,805				
	総事業費(A+B)	千円	8,808	9,520	8,711	8,794					
	財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0				
府支出金		千円	0	0	0	0					
国・府支出金コメント											
地方債		千円	0	0	0	0					
その他特財		千円	429	384	428	369					
地方債・その他特財コメント											
一般財源	千円	8,379	9,136	8,283	8,425						

計画事業評価表

計画事業		000470 六人部地域公民館運営事業				
活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
活動実績	一般講座の回数	目標	40	40	32	32
		実績		38	41	44
		単位コスト		124.079	95.268	90.659
	開館日数	目標	293	298	293	293
		実績		294	293	293
		単位コスト		16.037	13.331	13.614
成果指標名	目標					
	実績					
	単位コスト					
成果実績	講座参加延べ人数	目標	330	330	330	330
		実績		449	631	532
	公民館利用人数	目標	17,000	17,000	17,000	17,000
		実績		22,824	20,000	20,514
	目標					
		実績				

事項	担当課評価																																	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	基本的には自治体を実施する事業であるが、今後は指定管理も含めた民間による実施主体を視野に入れていく。																																	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	講座によっては参加枠を超える希望者があるなど市民が生涯学習を実践する場として有効に機能していると同時に、コミュニティづくりにも寄与している。																																	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	事業費は最低限のものであり、講座についても地域コミュニティを推進していくとの観点から実費のみ参加者負担で参加料は徴収しない。																																	
コストと成果の方向性	事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																	
事務事業の方向性の組み合わせ	A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)																																	
<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						生涯学習の趣旨を踏まえると単純に参加者の少ない講座をなくすことはできないので、予算配分の関係もあり回数を考慮するなど再編していく。 価値観の多様化や市民のニーズなど社会情勢の変化に順応したものとしていく必要がある。 施設利用者への安全安心で利便性の高い公共施設としていくために、施設設備や備品等の各種修繕にも計画的に取り組んでいかなければならない。
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業		000471 成和地域公民館運営事業									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度		担当部名	教育委員会					
基本理念	73	生涯学習の推進			担当課	中央公民館					
基本方針	01	生涯学習を充実する			新規継続区分	継続事業					
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業					
施策					自由区分3	棚卸し未実施					
根拠法令	社会教育法										
構成予算事業			会計	款	項	目					
630106	成和地域公民館一般管理事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02	公民館費		
630206	成和地域公民館事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02	公民館費		
実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業						
	直接実施										
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)										
	補助金 (補助先:)										
事務事業の意図	(どのような状態にしたいか) 市民のニーズに即した講座の開設及び運営を実施すると同時に、市民の生涯学習の推進と地域コミュニティの拡充を支援する。 各用品等の整備など公民館の維持管理を行い、施設利用者の利便性を確保していく。										
対象	(誰・何を対象に) 公民館利用者										
事業内容	(手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください) 公民館活動(市民対象の講座の企画・開設、コミセン祭りの開催など) 施設等管理(光熱水費の支出、臨時職員の配置など)										
関連事業	(同一目的事業等)										
事業計画額	コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度					
		需用費	千円	4,166	3,914	4,072	3,990				
		賃金	千円	1,072	1,009	1,012	0				
		委託料	千円	647	641	578	570				
		報償費	千円	189	181	169	0				
		使用料及び賃借料	千円	130	129	129	0				
		役務費	千円	20	14	14	15				
		報酬	千円	0	0	0	132				
		給料	千円	0	0	0	0				
		職員手当等	千円	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	16	1,134					
	小計	千円	6,224	5,888	5,990	5,841					
	B	人件費	千円	4,805	4,805	4,805	4,805				
	総事業費(A+B)	千円	11,029	10,693	10,795	10,646					
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0					
	府支出金	千円	0	0	0	0					
	国・府支出金コメント										
	地方債	千円	0	0	0	0					
	その他特財	千円	434	467	432	482					
地方債・その他特財コメント											
一般財源	千円	10,595	10,226	10,363	10,164						

計画事業評価表

計画事業		000471 成和地域公民館運営事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	一般講座の回数	目標	回	50	51	37	37
		実績			41	35	28
		単位コスト			143.610	171.143	208.607
	開館日数	目標	日	293	298	293	293
		実績			294	293	293
		単位コスト			20.027	20.444	19.935
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
講座参加延べ人数	目標	人	450	450	470	450	
	実績			479	380	304	
公民館利用人数	目標	人	23,000	23,000	23,000	23,000	
	実績			32,988	29,115	29,491	
	目標						
	実績						

事項		担当課評価																																		
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		基本的には自治体を実施する事業であるが、今後は指定管理も含めた民間による実施主体を視野に入れていく。																																		
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		講座によっては参加枠を超える希望者があるなど市民が生涯学習を実践する場として有効に機能していると同時に、コミュニティづくりにも寄与している。																																		
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		事業費は最低限のものであり、講座についても地域コミュニティを推進していくとの観点から実費のみ参加者負担で参加料は徴収しない。																																		
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																		
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 生涯学習の趣旨を踏まえると単純に参加者の少ない講座をなくすことはできないので、予算配分の関係もあり回数を考慮するなど再編していく。 価値観の多様化や市民のニーズなど社会情勢の変化に順応したものとしていく必要がある。 施設利用者への安全安心で利便性の高い公共施設としていくために、施設設備や備品等の各種しゅつぜんにも計画的に取り組んでいかなければならない。	
成果の方向性	拡充		×																																	
	維持		×		○	×																														
	縮小		×		×	×																														
	休廃止		×	×	×																															
		皆減	縮小	維持	拡大																															
コスト投入の方向性																																				

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000472	三和地域公民館運営事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成18年度	担当部名	教育委員会				
基本理念	73	生涯学習の推進			担当課	中央公民館			
基本方針	01	生涯学習を充実する			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	社会教育法								
構成予算事業			会計	款	項	目			
630108	三和地域公民館一般管理事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02	公民館費
630208	三和地域公民館事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02	公民館費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		市民のニーズに即した講座の開設及び運営を実施すると同時に、市民の生涯学習の推進と地域コミュニティの拡充を支援する。 各用品等の整備など公民館の維持管理を行い、施設利用者の利便性を確保していく。							
対象 (誰・何を対象に)		公民館利用者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		公民館活動(市民対象の講座の企画・開設、コミセン祭りの開催など) 施設等管理(光熱水費の支出、臨時職員の配置など)							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	需用費	千円	1,742	1,868	1,946	1,800
		賃金	千円	1,325	1,308	1,307	0
		委託料	千円	1,166	1,077	1,080	1,064
		報償費	千円	214	175	183	0
		役務費	千円	98	164	167	165
		使用料及び賃借料	千円	45	13	22	0
		報酬	千円	0	0	0	175
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		その他	千円	4	0	3	1,338
	小計	千円	4,594	4,605	4,708	4,542	
	B	人件費	千円	4,755	4,755	4,755	4,675
		総事業費(A+B)	千円	9,349	9,360	9,463	9,217
財源内訳		国支出金	千円	0	0	0	0
		府支出金	千円	0	0	0	0
		国・府支出金 コメント					
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他特財	千円	112	116	112	127
	地方債・その他特財 コメント						
		一般財源	千円	9,237	9,244	9,351	9,090

計画事業評価表

計画事業		000472 三和地域公民館運営事業							
活動指標名	単位	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
		一般講座の回数	回	40	40	35	35	49	47
開館日数	日	359	359	359	359	359	359	12.792	13.114
成果指標名	単位	平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度	
講座参加延べ人数	人	550	550	550	550	629	774	10,000	10,000
公民館利用人数	人	10,000	10,000	10,000	10,000	7,964	8,356		

事項	担当課評価																																	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>	基本的には自治体を実施する事業であるが、今後は指定管理も含めた民間による実施主体を視野に入れていく。																																	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>	講座によっては参加枠を超える希望者があるなど市民が生涯学習を実践する場として有効に機能していると同時に、コミュニティづくりにも寄与している。																																	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>	事業費は最低限のものであり、講座についても地域コミュニティを推進していくとの観点から実費のみ参加者負担で参加料は徴収しない。																																	
コストと成果の方向性	事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																	
事務事業の方向性の組み合わせ	A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)																																	
<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						生涯学習の趣旨を踏まえると単純に参加者の少ない講座をなくすことはできないので、予算配分の関係もあり回数をこすりよするなど再編していく。 価値観の多様化や市民のニーズなど社会情勢の変化に順応したものとしていく必要がある。 施設利用者への安全安心で利便性の高い公共施設としていくために、施設設備や備品等の各種修繕にも計画的に取り組んでいかなければならない。
成果の方向性		拡充	×																															
		維持	×		○	×																												
		縮小	×		×	×																												
	休廃止		×	×	×																													
		皆減	縮小	維持	拡大																													
コスト投入の方向性																																		

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業		000473 夜久野地域公民館運営事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成18年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	73	生涯学習の推進				担当課	中央公民館			
基本方針	01	生涯学習を充実する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令	社会教育法									
構成予算事業			会計		款		項		目	
630112	夜久野地域公民館一般管理事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02	公民館費	
630212	夜久野地域公民館事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02	公民館費	
実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業					
	直接実施									
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)									
	補助金 (補助先:)									
事務事業の意図	(どのような状態にしたいか) 市民のニーズに即した講座の開設及び運営を実施すると同時に、市民の生涯学習の推進と地域コミュニティの拡充を支援する。 各用品等の整備など公民館の維持管理を行い、施設利用者の利便性を確保していく。									
対象	(誰・何を対象に) 公民館利用者									
事業内容	(手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください) 公民館活動(市民対象の講座の企画・開設、コミセン祭りの開催など) 施設等管理(光熱水費の支出、臨時職員の配置など)									
関連事業	(同一目的事業等)									
コスト	A	賃金	千円	1,325	1,267	1,267	0			
		役務費	千円	423	191	206	201			
		需用費	千円	181	149	185	212			
		報償費	千円	149	121	95	0			
		使用料及び賃借料	千円	0	39	3	0			
		委託料	千円	23	13	18	17			
		報酬	千円	0	0	0	85			
		給料	千円	0	0	0	0			
		職員手当等	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	7	0	49	1,265			
	小計	千円	2,108	1,780	1,823	1,780				
	B	人件費	千円	4,755	4,755	4,755	4,675			
	総事業費(A+B)	千円	6,863	6,535	6,578	6,455				
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0				
	府支出金	千円	0	0	0	0				
	国・府支出金コメント									
	地方債	千円	0	0	0	0				
	その他特財	千円	0	0	0	0				
地方債・その他特財コメント										
一般財源	千円	6,863	6,535	6,578	6,455					

計画事業評価表

計画事業		000473 夜久野地域公民館運営事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	一般講座の回数	目標	回	37	37	37	37
		実績			24	29	25
		単位コスト			74.167	62.862	71.200
	開館日数	目標	日	359	359	359	359
		実績			360	359	359
		単位コスト			4.944	5.078	4.958
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
成果実績	講座参加延べ人数	目標	700	700	700	700	
		実績		768	798	935	
	公民館利用人数	目標	4,000	4,000	4,000	4,000	
		実績		17,851	5,973	2,965	
		目標					
		実績					

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		基本的には自治体を実施する事業であるが、今後は指定管理も含めた民間による実施主体を視野に入れていく。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		講座によっては参加枠を超える希望者があるなど市民が生涯学習を実践する場として有効に機能していると同時に、コミュニティづくりにも寄与している。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		事業費は最低限のものであり、講座についても地域コミュニティを推進していくとの観点から実費のみ参加者負担で参加料は徴収しない。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
	皆減 縮小 維持 拡大		生涯学習の趣旨を踏まえると単純に参加者の少ない講座をなくすことはできないので、予算配分のかんけいもあり回数を考慮するなど再編していく。		
コスト投入の方向性		価値観の多様化や市民のニーズなど社会情勢の変化に順応したものとしていく必要がある。			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業		000474 大江地域公民館運営事業									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成18年度			担当部名	教育委員会				
基本理念	73	生涯学習の推進				担当課	中央公民館				
基本方針	01	生涯学習を充実する				新規継続区分	継続事業				
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業				
施策						自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令	社会教育法										
構成予算事業			会計		款		項		目		
630162	大江地域公民館一般管理事業		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02	公民館費	
630216	大江地域公民館事業		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02	公民館費	
実施方法	国庫補助事業		府補助事業		市単独事業						
	直接実施										
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)										
	補助金 (補助先:)										
事務事業の意図	(どのような状態にしたいか)		市民のニーズに即した講座の開設及び運営を実施すると同時に、市民の生涯学習の推進と地域コミュニティの拡充を支援する。 各用品等の整備など公民館の維持管理を行い、施設利用者の利便性を確保していく。								
対象	(誰・何を対象に)		公民館利用者								
事業内容	(手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		公民館活動(市民対象の講座の企画・開設、コミセン祭りの開催など) 施設等管理(光熱水費の支出、臨時職員の配置など)								
関連事業	(同一目的事業等)										
事業計画額	コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度					
		需用費	千円	1,760	1,577	1,398	1,655				
		賃金	千円	1,072	1,026	1,023	0				
		委託料	千円	416	365	352	340				
		役務費	千円	151	131	134	220				
		報償費	千円	164	122	107	0				
		使用料及び賃借料	千円	70	69	74	0				
		報酬	千円	0	0	0	61				
		給料	千円	0	0	0	0				
		職員手当等	千円	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	66	1,061					
	小計	千円	3,633	3,290	3,154	3,337					
	B	人件費	千円	4,755	4,755	4,755	4,805				
総事業費(A+B)		千円	8,388	8,045	7,909	8,142					
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0					
	府支出金	千円	0	0	0	0					
	国・府支出金コメント										
	地方債	千円	0	0	0	0					
	その他特財	千円	31	44	38	38					
地方債・その他特財コメント											
一般財源	千円	8,357	8,001	7,871	8,104						

計画事業評価表

計画事業		000474 大江地域公民館運営事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	一般講座の回数	目標	回	30	27	30	30
		実績			25	25	24
		単位コスト			131.600	126.160	139.042
	開館日数	目標	日	293	298	293	293
		実績			294	293	293
		単位コスト			11.190	10.765	11.389
		目標					
		実績					
		単位コスト					
成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
講座参加延べ人数	目標	人	330	330	330	330	
	実績			260	294	150	
公民館利用人数	目標	人	5,000	10,000	10,000	20,000	
	実績			3,874	4,162	3,451	
	目標						
	実績						

事項		担当課評価	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		基本的には自治体を実施する事業であるが、今後は指定管理も含めた民間による実施主体を視野に入れていく。	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		講座によっては参加枠を超える希望者があるなど市民が生涯学習を実践する場として有効に機能していると同時に、コミュニティづくりにも寄与している。	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		事業費は最低限のものであり、講座についても地域コミュニティを推進していくとの観点から実費のみ参加者負担で参加料は徴収しない。	
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)	
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)	
成果の方向性	拡充 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	生涯学習の趣旨を踏まえると単純に参加者の少ない講座をなくすことはできないので、予算配分の関係もあり回数を考慮するなど再編していく。	
	維持 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	価値観の多様化や市民のニーズなど社会情勢の変化に順応したものとしていく必要がある。	
	縮小 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	施設利用者への安全安心で利便性の高い公共施設としていくために、施設設備や備品等の各種修繕にも計画的に取り組んでいかなければならない。	
	休廃止 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
皆減 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大			
コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000478	公民館運営審議会事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会				
基本理念	73	生涯学習の推進			担当課	中央公民館			
基本方針	01	生涯学習を充実する			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3				
根拠法令	社会教育法								
構成予算事業			会計		款		項		目
630224	公民館運営審議会事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02	公民館費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
実施方法		直接実施							
実施方法		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
実施方法		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		公民館における各種事業の実施等について、公民館活動の円滑な運営、さらには生涯学習及び地域コミュニティづくりを推進していくために、審議会により生涯学習活動の指針を提示していただく。							
対象 (誰・何を対象に)		公民館利用者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		運営審議会委員による審議会を開催し、公民館活動について審議し提言・助言をいただく。							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	報酬	千円	256	168	144	248
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		報償費	千円	0	0	0	0
		旅費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	256	168	144	248	
	B	人件費	千円	240	240	240	240
	総事業費(A+B)	千円	496	408	384	488	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	496	408	384	488	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000478 公民館運営審議会事業						
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	年間審議会開催回数	目標	回	2	2	3	3	
		実績			2	2	3	
		単位コスト			84.000	72.000	82.667	
	活動実績	目標						
		実績						
		単位コスト						
	成果実績	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
		各公民館一般講座の参加者数合計	目標	人	5,500	4,650	4,620	4,620
			実績			5,149	5,062	5,051
		目標						
		実績						
		目標						
	実績							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		公民館における各種事業の実施について審議を行い、公民館活動の円滑な運営、さらには生涯学習及び地域コミュニティづくりの推進に寄与している。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		運営審議会の提言に基づいて公民館事業を運営し推進することで、各種活動等が活性化し、ひいては各講座参加者増につながっていく。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		審議会委員の報酬等が主な事業費である。(審議会委員の定数20名)			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)			
成果の方向性	拡充	x			
	維持	x			x
	縮小	x		x	x
	休廃止		x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性		地域公民館を取り巻く状況の中で、館によって閉館日や閉館時間の相違、さらには減免などの利用料金等々の統一問題を、審議会で議論してもらつことも検討する必要がある。			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業		000479 地区公民館育成事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会					
基本理念	73 生涯学習の推進	担当課	中央公民館							
基本方針	01 生涯学習を充実する	新規継続区分	継続事業							
施策の大綱		実施計画区分	実施計画事業							
施策		自由区分3								
根拠法令	社会教育法									
構成予算事業			会計	款	項	目				
630225	地区公民館育成事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02	公民館費	
実施方法	国庫補助事業 府補助事業 市単独事業									
	直接実施									
	業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)									
	補助金 (補助先:)									
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	<p>地区公民館の活動への支援を強化するとともに、市民協働のまちづくりを目標に地域のコミュニティづくりや活性化を推進する。</p> <p>各地区公民館長・主事の事業の企画・実施に伴い適正な手当てをすることで、地域を担う人材を育成すると同時に、生涯学習活動を支援する。</p>									
対象 (誰・何を対象に)	地域住民、地区公民館、及び地区公民館長・主事									
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)	<p>地区公民館の館長・主事に対する報償費</p> <p>地区公民館事業負担金(惇明地区公民館他 29館、福知山市公民館連絡協議会など)</p>									
関連事業 (同一目的事業等)										
コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度					
	負担金補助及び交付金	千円	6,601	6,592	6,593	6,593				
	報償費	千円	5,046	5,046	5,046	0				
	需用費	千円	75	45	59	58				
	旅費	千円	5	30	0	0				
	報酬	千円	0	0	0	4,924				
	給料	千円	0	0	0	0				
	職員手当等	千円	0	0	0	0				
	共済費	千円	0	0	0	0				
	災害補償費	千円	0	0	0	0				
	その他	千円	106	0	0	0				
	小計	千円	11,833	11,713	11,698	11,575				
	B 人件費	千円	0	0	80	240				
総事業費(A+B)	千円	11,833	11,713	11,778	11,815					
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0				
	府支出金	千円	0	0	0	0				
	国・府支出金コメント									
	地方債	千円	0	0	0	0				
	その他特財	千円	0	0	0	0				
地方債・その他特財コメント										
一般財源	千円	11,833	11,713	11,778	11,815					

計画事業評価表

計画事業		000479 地区公民館育成事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	地区公民館イベント回数	目標	回	330	330	330	330
		実績			320	315	312
		単位コスト			36.603	37.137	37.099
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	地区公民館イベント回数	目標	回	330	330	330	330
実績				320	315	312	
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価																																		
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		各地区公民館において市民の生涯学習や地域づくり活動を支援することを目的に実践している。また、市民協働のまちづくりの観点から地区公民館活動の充実が必要となる。																																		
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		各地区公民館が各々の地域において公民館活動を実践する経費の負担減に寄与している。また、地域の特性に応じた事業計画、さらにはそのための人材育成にも有効な事業となっている。																																		
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		より効率的な事業推進のために市内統一の地区公民館事業負担金を設定することにより、各地区公民館活動が一層充実することになる。																																		
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																		
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×		○	×	縮小	×		×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						A 現状維持(現在の事業規模により継続実施) 長らく継続されてきた地区公民館活動であるが、価値観や個人の考え方・生き方が多様化している時代背景の中で、よりきめ細やかな手法が求められている。今後は、社会情勢の変化に順応した地域コミュニティづくりが必要である。 また、少子高齢化や過疎化など地域が直面している課題に対処していくには、地区公民館活動を再編・再構築するなどの充実及び強化が必要になっている。	
成果の方向性	拡充		×																																	
	維持		×		○	×																														
	縮小		×		×	×																														
	休廃止		×	×	×																															
		皆減	縮小	維持	拡大																															
コスト投入の方向性																																				

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000480	高齢者ボランティア活動推進事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			担当部名	教育委員会		
基本理念	73	生涯学習の推進				担当課	中央公民館		
基本方針	01	生涯学習を充実する				新規継続区分	継続事業		
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業		
施策						自由区分3			
根拠法令									
構成予算事業			会計		款		項		目
630229	高齢者ボランティア活動推進事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02	公民館費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		高齢者ボランティア参加を促進し、地域行事や講座等でリーダーシップを担ってもら。 高齢者の知識、技能、及び経験を活用し、高齢者の社会参加と生きがいづくりを推進する。							
対象 (誰・何を対象に)		公民館利用者、高齢者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		高齢者ボランティアの活動推進 各種研修会等の開催(他施設の見学、他市町との交流など)							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	報償費	千円	0	128	90	0
		需用費	千円	0	8	0	0
		報酬	千円	0	0	0	69
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		恩給及び退職年金	千円	0	0	0	0
		賃金	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	小計	千円	0	136	90	69	
	B	人件費	千円	0	125	125	125
総事業費(A+B)		千円	0	261	215	194	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0	
一般財源		千円	0	261	215	194	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000480 高齢者ボランティア活動推進事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	公民館人材銀行の登録者数	目標	人		42	42	42
		実績				41	38
		単位コスト				2.195	1.816
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	講座への延べ派遣回数	目標	回		80	80	80
実績					90	69	
目標							
	実績						
	目標						
	実績						

事項		担当課評価																																		
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		生涯学習を推進するうえで、高齢者の知識や経験を活かすことは肝要であり、ひいては高齢者の社会参加と生きがいづくりに寄与することになる。																																		
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		各地域にとっては、高齢者の知識や経験を活かせる場の提供になること、そして、そのことが高齢者の社会参加と生きがいづくりに結びつくことで有効な事業としている。																																		
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		各講師先生として活躍される高齢者への謝礼が主である。																																		
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																		
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>皆減</td> <td>○</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×			×	縮小	×		×	×	休廃止	○	×	×	×		皆減	○	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						D 縮小・廃止(実施期間の終了または休廃止の検討が必要) 時代背景もあり人材銀行への登録人数やボランティア活動の参加者数も増加していない。今後の事業効果を見据え、同事業は廃止し、必要不可欠な部分は中央公民館事業に包括することで、事業の再編を行う。	
成果の方向性	拡充		×																																	
	維持		×			×																														
	縮小		×		×	×																														
	休廃止	○	×	×	×																															
	皆減	○	縮小	維持	拡大																															
コスト投入の方向性																																				

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業		000481	公民館活動研修事業								
評価基準年度		平成27年度	事業開始年度		平成21年度	担当部名		教育委員会			
基本理念		73	生涯学習の推進			担当課		中央公民館			
基本方針		01	生涯学習を充実する			新規継続区分		継続事業			
施策の大綱						実施計画区分		実施計画事業			
施策						自由区分3					
根拠法令											
構成予算事業			会計		款		項		目		
630242	公民館活動研修事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02	公民館費		
事業基本情報	実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業				
	直接実施										
	業務委託又は指定管理		(委託先又は指定管理者 :)								
	補助金		(補助先 :)								
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)	各公民館大会や研修会に積極的に参加し、また他市町の先進的な取り組みを学び、採り入れることで、公民館活動の充実及び発展に寄与することになる。										
	対 象 (誰・何を対象に)		地域公民館館長、主事								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		公民館活動のための各種研修会参加経費等 (全国、近畿、及び京都府の各公民館大会、各種研修会など)									
関連事業 (同一目的事業等)											
事業計画額	コスト	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度					
		旅費	千円	92	36	22	0				
		負担金補助及び交付金	千円	45	30	18	22				
		委託料	千円	15	13	41	18				
		使用料及び賃借料	千円	44	11	23	0				
		需用費	千円	18	5	18	9				
		報酬	千円	0	0	0	0				
		給料	千円	0	0	0	0				
		職員手当等	千円	0	0	0	0				
		共済費	千円	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	124					
	小計	千円	214	95	122	173					
	B	人件費	千円	155	155	130	130				
	総事業費(A+B)		千円	369	250	252	303				
	財源内訳	国支出金		千円	0	0	0	0			
府支出金		千円	0	0	0	0					
国・府支出金コメント											
地方債		千円	0	0	0	0					
その他特財		千円	0	0	0	0					
地方債・その他特財コメント											
一般財源		千円	369	250	252	303					

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000481 公民館活動研修事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	公民館大会・研修会の回数	目標	回	3	3	3	3
		実績		2	3	3	
		単位コスト		47.500	40.667	57.667	
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	人	160,000	105,000	105,000	104,000
		実績		159,173	143,853	109,524	
		単位コスト					
	地域公民館の施設利用人数	目標	人				
		実績					
単位コスト							
成果実績	目標	人					
	実績						
	単位コスト						

事項		担当課評価																																		
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		公民館活動のための各公民館大会や各種研修会への参加経費等																																		
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		各地域公民館の館長及び主事が各公民館大会や各種研修会に参加して研鑽することにより、公民館活動の活性化につながると同時に、施設利用者の増加に結びつくことになる。																																		
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		各公民館大会及び各種研修会へ参加するための経費であるが、今後は創意工夫していく必要がある。																																		
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)																																		
事務事業の方向性の組み合わせ <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td colspan="6">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>		成果の方向性	拡充	×				維持	×			×	縮小	×	○	×	×	休廃止		×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性						D 縮小・廃止(実施期間の終了または休廃止の検討が必要) 各公民館大会及び各種研修会へ参加することで、今後の各公民館事業に活かしていかなければならないが、その事業効果の検証をしていくことが肝要である。 また、コスト削減の折、管外出張にかかる経費についても、参加人数や手法について検討していく必要がある。	
成果の方向性	拡充		×																																	
	維持		×			×																														
	縮小		×	○	×	×																														
	休廃止		×	×	×																															
		皆減	縮小	維持	拡大																															
コスト投入の方向性																																				

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000475	桃映地域体育館一般管理事業							
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度	担当部名	教育委員会				
基本理念	73	生涯学習の推進			担当課	中央公民館			
基本方針	03	生涯学習施設を整備・充実する			新規継続区分	継続事業			
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業			
施策					自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令									
構成予算事業			会計		款		項		目
630107	桃映地域体育館一般管理事業	01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02	公民館費
実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
		直接実施							
		業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者:)							
		補助金 (補助先:)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		市民のニーズに既した運営を実施すると同時に、市民の健康増進とスポーツサークルを通じてコミュニティづくりを支援する。 各用品等の整備など体育館の維持管理を行い、施設利用者の利便性を確保していく。							
対象 (誰・何を対象に)		体育館利用者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		体育館施設等管理及び運営(施設設備及び備品等の維持管理、光熱水費など)							
関連事業 (同一目的事業等)									

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	需用費	千円	961	966	1,513	1,001
		委託料	千円	151	141	107	106
		役務費	千円	69	78	77	80
		使用料及び賃借料	千円	15	15	15	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	13
		小計	千円	1,196	1,200	1,712	1,200
B	人件費	千円	4,830	4,830	5,150	4,870	
総事業費(A+B)		千円	6,026	6,030	6,862	6,070	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	494	373	493	502	
地方債・その他特財 コメント							
一般財源		千円	5,532	5,657	6,369	5,568	

計画事業評価表

計画事業		000475 桃映地域体育館一般管理事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	開館日数	目標	日	293	298	293	293
		実績			294	293	293
		単位コスト			4.082	5.843	4.096
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	人	10,000	10,000	10,000	10,000
		実績			8,826	8,618	9,438
		単位コスト					
体育館利用人数	目標	人					
	実績						
	単位コスト						

事項		担当課評価		
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		基本的には自治体を実施する事業であるが、今後は指定管理も含めた民間による実施主体を視野に入れていく。		
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		市民の健康管理及びスポーツサークルを通じて生涯学習実践の場として機能していると同時に、コミュニティづくりにも寄与している。		
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		事業費は最低限のものである。また、地域の体育館を利用してもらうことで、地域コミュニティづくりを側面から推進することになる。		
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)		
事務事業の方向性の組み合わせ		C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要)		
成果の方向性	拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/>	地域住民をはじめとする市民の健康管理とスポーツサークルを通じての生涯学習の実践の場としての施設との観点から、今後も更にその有効性を発信していく必要がある。		
	皆減 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/>	施設利用者への安全安心で利便性の高い公共施設としていくために、施設設備や備品等の各種修繕にも計画的に取り組んでいかなければならない。		
	コスト投入の方向性		桃映中学校区には地域公民館がないので、今後、桃映地域体育館を同学区の地域公民館として、地域コミュニティづくり及び生涯学習を提供する拠点として位置づけていく。	

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000476 大江町総合会館運営事業									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成18年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	73	生涯学習の推進				担当課	中央公民館			
基本方針	03	生涯学習施設を整備・充実する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3				
根拠法令										
構成予算事業			会計		款		項		目	
630116	大江町総合会館運営事業		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02	公民館費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者 :)							
補助金			(補助先 :)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			市民のニーズに既した公共施設の貸館業務を実施すると同時に、市民の生涯学習の推進と地域コミュニティの拡充を支援する。 各用品等の整備など会館の維持管理を行い、施設利用者の利便性を確保していく。							
対象 (誰・何を対象に)			会館利用者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			会館施設等管理及び運営(各機械設備保守点検、清掃業務等の施設管理委託、光熱水費など)							
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	需用費	千円	3,537	5,495	5,383	4,596
		賃金	千円	2,756	2,798	2,552	0
		委託料	千円	1,684	1,550	1,049	2,184
		役務費	千円	73	62	50	31
		備品購入費	千円	0	33	223	0
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	15	0	0	2,515
	小計	千円	8,065	9,938	9,257	9,326	
	B	人件費	千円	160	160	80	4,870
	総事業費(A+B)	千円	8,225	10,098	9,337	14,196	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	0	0	
	その他特財	千円	634	699	632	212	
	地方債・その他特財 コメント						
	一般財源	千円	7,591	9,399	8,705	13,984	

計画事業評価表

(2 / 2)

計画事業		000476 大江町総合会館運営事業					
事業実績と成果	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
	開館日数	目標	日	359	359	357	356
		実績			314	299	249
		単位コスト			31.650	30.960	37.454
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	人	23,000	20,000	23,000	22,500
		実績			22,218	16,093	9,343
		単位コスト					
総合会館利用人数	目標	人					
	実績						
	単位コスト						
成果指標名	目標	人					
	実績						
	単位コスト						

事項		担当課評価	
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		基本的には自治体を実施する事業であるが、今後は指定管理も含めた民間による実施主体を視野に入れていく。	
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		多機能ホールもあり市民のありとあらゆる生涯学習実践の場として機能していると同時に、コミュニティづくりにも寄与している。	
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		事業費は最低限のものである。また、地域の交流の場として会館を利用してもらうことで、地域コミュニティづくりを側面から推進することになる。	
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)	
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)	
成果の方向性	拡充 × ○ × ×	地域住民をはじめとする市民の皆さんのための多機能施設として、様々な活動や発表の場として位置づけられるので、今後も更にその有効性を発信していく必要がある。	
	維持 ○ × × ×	施設利用者への安全安心で利便性の高い公共施設としていくために、施設設備や備品等の各種修繕にも計画的に取り組んでいかなければならない。	
	縮小 × × × ×	施設の所管について、その位置づけ、職員の配置、光熱水費等の必要経費の支出、及び物理的な課題などにより、中央公民館から大江支所に所管換えるのが妥当である。	
	休廃止 × × ×		
皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性			

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	000906	市民交流プラザふくちやま管理運営事業								
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成26年度	担当部名	教育委員会					
基本理念	73	生涯学習の推進			担当課	中央公民館				
基本方針	03	生涯学習施設を整備・充実する			新規継続区分	継続事業				
施策の大綱					実施計画区分	実施計画事業				
施策					自由区分3	棚卸し未実施				
根拠法令										
構成予算事業			会計	款	項	目				
630167	市民交流プラザふくちやま管理運営事業		01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02	公民館費
実施方法			国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
直接実施										
業務委託又は指定管理			(委託先又は指定管理者 :)							
補助金			(補助先 :)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)			効率的な市民交流プラザふくちやまの事務事業の推進に努め、市民のニーズに即した運営を行う。 市民交流プラザふくちやまの施設利用者の利便性を確保する。							
対象 (誰・何を対象に)			市民交流プラザふくちやま利用者							
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)			市民交流プラザふくちやまの施設維持管理及び運営(各機械設備保守点検、清掃業務等の施設管理委託、光熱水費など)							
関連事業 (同一目的事業等)										

コスト	A	委託料	千円	平成28年度	32,959	平成27年度	32,720	平成26年度	32,736	平成25年度	0
		需用費	千円	19,890	18,947	20,665	0				
		役務費	千円	646	503	1,153	0				
		備品購入費	千円	0	42	14	0				
		報酬	千円	0	0	0	0				
		給料	千円	0	0	0	0				
		職員手当等	千円	0	0	0	0				
		共済費	千円	0	0	0	0				
		災害補償費	千円	0	0	0	0				
		その他	千円	15	0	4,778	0				
小計	千円	53,510	52,212	59,346	0						
B	人件費	千円	800	800	800	0					
総事業費(A+B)		千円	54,310	53,012	60,146	0					
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0					
	府支出金	千円	130	0	0	0					
	国・府支出金 コメント										
	地方債	千円	0	0	0	0					
	その他特財	千円	11,487	14,937	12,058	0					
地方債・その他特財 コメント											
一般財源	千円	42,693	38,075	48,088	0						

計画事業評価表

計画事業		000906 市民交流プラザふくちやま管理運営事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	開館日数	目標	日	359	359	359	
		実績			360	359	
		単位コスト			145.033	165.309	
		目標					
		実績					
		単位コスト					
		目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	市民交流プラザふくちやま利用者数	目標	人	150,000	100,000	100,000	
実績				146,248	100,703		
目標							
実績							
目標							
実績							

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		全ての市民の皆さんに、コミュニティづくり、様々な交流、及び憩いの場である市民交流プラザふくちやまを、安全安心かつ快適な公共施設として提供していくための維持管理及び運営の事業である。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		市民交流プラザふくちやまの施設を維持管理し、設備や備品等を整備することで、施設利用者の利便性を確保する。 市民の生涯学習実践の場として機能していると同時に、地域コミュニティづくりに寄与している。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		市民交流プラザふくちやまの利用は、地域コミュニティづくりの充実・拡大を推進することになる。 維持管理及び運営にかかる事業費は最低限のものである。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)			
成果の方向性	拡充	×		市民交流プラザふくちやまは、全ての市民にとって、コミュニティづくりの場であり、様々な交流の場であり、憩いの場であるために利便性を確保するとともに、安全安心で、かつ快適な公共施設であるように、維持管理及び運営していくための事業である。 基本的には自治体を実施する管理事業であるが、今後は指定管理も含めて民間が実施主体となることも視野に入れていく必要がある。	
	維持	×	○		
	縮小	×	×		
	休廃止		×		×
コスト投入の方向性		皆減	縮小	維持	拡大

計画事業評価表

(1 / 2)

計画事業	001039 地域公民館等施設改修事業									
評価基準年度	平成27年度	事業開始年度	平成1年度			担当部名	教育委員会			
基本理念	73	生涯学習の推進				担当課	中央公民館			
基本方針	03	生涯学習施設を整備・充実する				新規継続区分	継続事業			
施策の大綱						実施計画区分	実施計画事業			
施策						自由区分3	棚卸し未実施			
根拠法令										
	構成予算事業			会計		款		項		目
630127	地域公民館等施設改修事業			01	一般会計	10	教育費	05	社会教育費	02 公民館費
事業基本情報	実施方法		国庫補助事業		府補助事業		市単独事業			
	直接実施									
	業務委託又は指定管理		(委託先又は指定管理者 :)							
	補助金		(補助先 :)							
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		経年劣化が進む各地域公民館等の施設・設備・備品を現状復旧又は改修することで、地域住民をはじめとする市民の皆さんに安全安心、かつ快適な公共施設を提供していく。								
対象 (誰・何を対象に)		地域公民館等利用者								
事業内容 (手段、手法などで、具体的な数字や金額も記入してください)		現場からの要望、緊急性、及び時節的な側面等も考慮する中で、各々優先度を決めて、順次執行していく。 地域公民館及び体育館等施設の施設修繕費、工事請負費、備品購入費								
関連事業 (同一目的事業等)										

		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
コスト	A	工事請負費	千円	550	17,068	9,807	1,418
		委託料	千円	0	2,851	1,134	0
		需用費	千円	5,175	2,548	1,248	2,327
		備品購入費	千円	0	11	0	273
		報酬	千円	0	0	0	0
		給料	千円	0	0	0	0
		職員手当等	千円	0	0	0	0
		共済費	千円	0	0	0	0
		災害補償費	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		小計	千円	5,725	22,478	12,189	4,018
B	人件費	千円	2,100	2,100	1,575	1,575	
総事業費(A+B)		千円	7,825	24,578	13,764	5,593	
財源内訳	国支出金	千円	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	国・府支出金 コメント						
	地方債	千円	0	0	3,100	4,500	
	その他特財 地方債・その他特財 コメント	千円	0	0	0	0	
一般財源	千円	7,825	24,578	10,664	1,093		

計画事業評価表

計画事業		001039 地域公民館等施設改修事業					
事業実績と成果	活動指標名		単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
	修繕・改修等の箇所数	目標	箇所	12	9	10	12
		実績			21	8	8
		単位コスト			1070.381	1523.625	502.250
	活動実績	目標					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標名	目標	人	193,000	135,000	138,000	136,500
		実績			190,217	168,564	128,305
		単位コスト					
	施設の利用者数	目標					
		実績					
単位コスト							
成果実績	目標						
	実績						
	単位コスト						

事項		担当課評価			
事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の度合い、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small>		経年劣化の進んだ各地域公民館等の施設・設備・備品等に修繕又は改修等を施すことは地域住民をはじめとする市民の皆さんに、安全安心かつ快適な公共施設を提供するうえで必要である。			
事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した事務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small>		地域公民館や体育館等施設については、広域避難所にも位置づけられているため、有事の際に、地域住民をはじめとする市民の皆さんに安全安心かつ快適に利用していただく公共施設としてその役割を果たすことになる。			
事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small>		老朽化により不具合の生じている各地域公民館等の施設・設備等を現状復旧又は改修することで、全体的な観点からコスト削減に寄与すると同時に、公共施設マネジメントを推進することになる。			
コストと成果の方向性		事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)			
事務事業の方向性の組み合わせ		A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)			
成果の方向性	拡充	×			
	維持	×		○	×
	縮小	×		×	×
	休廃止		×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性		地域住民をはじめとする市民の皆さんに安全安心かつ快適に利用してもらうために、老朽化の進む各地域公民館等施設に修繕又は改修を施すことで、施設の長寿命化とコスト削減の観点から所期の目標は達成している。 今後も各公民館施設等の施設・設備・備品等の修繕、改修、及び更新については、危機管理の観点も含める中で、その必要性、優先度、予算規模、更には公共施設マネジメントも考慮し、計画的に実施していく。			